

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月29日

上場会社名 株式会社富士テクノホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9243 URL <https://www.fjt-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 高井 男  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩澤 隆則 (TEL) 046 (294) 1070  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日  
 発行者情報提出予定日 2026年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,322	2.2	116	14.5	110	21.3	△69	—
2025年3月期	3,250	5.0	101	40.8	90	36.3	67	66.6

(注) 包括利益 2026年3月期 △69百万円(—%) 2025年3月期 67百万円(66.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△86.99	—	△46.4	7.6	3.5
2025年3月期	83.70	—	40.4	6.0	3.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,376	107	7.8	133.61
2025年3月期	1,524	193	12.7	239.12

(参考) 自己資本 2026年3月期 107百万円 2025年3月期 193百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	117	△55	△124	514
2025年3月期	89	△14	△67	575

### 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	20.00	20.00	16	23.9	9.7
2026年3月期	0.00	20.00	20.00	16	—	10.7
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年3月期の配当金は未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	3,500	5.4	130	11.7	120	9.0	90	—	112.14

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	807,600株	2025年3月期	807,600株
2026年3月期	5,000株	2025年3月期	5,000株
2026年3月期	802,600株	2025年3月期	802,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、多くの企業で継続的な賃上げが実施され所得改善が進み、責任ある積極財政への期待を背景に株式市場は歴史的な高水準となりました。しかし、米国の通商政策による影響や中東情勢に起因する資源価格の上昇による景気減速懸念が顕在化しており、先行き不透明な状況は継続しております。

このような経済環境の中、当社グループの主要顧客である製造業の研究開発は先行投資を維持しており、当社グループに対する要請は堅調に推移いたしました。特に、当社グループの中核である技術者派遣事業では、当社グループを挙げて、技術者の契約単価アップ施策の強化や技術教育を強化した取組みにより、契約単価および稼働率が前年同期を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度においては、売上高3,322百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益116百万円（同14.5%増）、経常利益110百万円（前年同期比21.3%増）、親会社株主に帰属する当期純損失69百万円（前年同期比-%増）となりました。

当社グループは情報処理事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (ア) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し1,004百万円となりました。これは、現金及び預金の減少70百万円、受取手形及び売掛金の増加22百万円、その他の増加12百万円が主な変動要因であります。

#### (イ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ113百万円減少し372百万円となりました。これは、長期性預金の増加50百万円、のれんの減少179百万円が主な変動要因であります。

#### (ウ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ96百万円増加し888百万円となりました。これは、短期借入金の増加66百万円、賞与引当金の増加12百万円が主な変動要因であります。

#### (エ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少し380百万円となりました。これは、社債の減少20百万円、長期借入金の減少146百万円が主な変動要因であります。

#### (オ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し107百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことによる利益剰余金の減少69百万円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少16百万円が変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、514百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は117百万円（前年同期は89百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純損失34百万円、減損損失144百万、のれん償却額35百万円、減価償却費11百万円などにより資金が増加した一方で、法人税等の支払額36百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は55百万円（前年同期は14百万円の使用）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入112百万円などにより資金が増加した一方で、定期預金の預入による支出154百万円、保険積立金の積立による支出7百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は124百万円（前年同期は67百万円の使用）となりました。これは主として、短期借入れによる収入1,935百万円により資金が増加した一方で、短期借入金の返済による支出1,869百万円、長期借入金の返済による支出148百万円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界情勢の先行きには注視が必要ですが、顧客の設計開発は盛んに行われており、当社グループへの技術者要請はシステム開発を中心に増加していくと予測しております。前提条件として、技術者数、稼働率、技術者単価の増加を予想しております。一方、人的投資の強化を行い技術者の確保にも繋げてまいります。

これらを踏まえ、翌連結会計年度（2027年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高3,500百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益130百万円（前年同期比11.7%増）、経常利益120百万円（前年同期比9.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円（前年同期比-）の増収・増益を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	597,546	527,137
受取手形及び売掛金	396,518	418,881
商品	16,270	17,695
仕掛品	6,776	3,984
前払費用	15,555	17,202
前渡金	6,012	6,438
その他	426	13,093
流動資産合計	1,039,105	1,004,434
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	18,418	16,344
工具、器具及び備品（純額）	7,744	6,976
リース資産（純額）	10,262	12,840
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	36,425	36,161
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	2,489	1,794
ソフトウェア	4,418	4,095
のれん	256,051	76,800
その他	1,265	1,265
無形固定資産合計	264,225	83,955
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	546	546
長期貸付金	1,437	1,437
長期前払費用	496	1,211
保険積立金	79,420	86,547
保証金	35,034	36,773
繰延税金資産	61,479	69,101
長期性預金	—	50,000
その他	6,670	6,670
投資その他の資産合計	185,085	252,288
固定資産合計	485,735	372,405
資産合計	1,524,841	1,376,839

株式会社富士テクノホールディングス (9243)  
2026年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,822	24,855
短期借入金	212,000	278,000
1年内返済予定の長期借入金	148,598	146,412
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	4,215	5,061
未払金	7,634	8,618
未払費用	172,995	182,201
未払法人税等	19,586	25,348
未払消費税等	65,214	70,843
賞与引当金	81,678	94,600
その他	28,419	32,946
流動負債合計	792,165	888,889
固定負債		
長期借入金	369,676	223,264
社債	80,000	60,000
リース債務	9,555	10,982
退職給付に係る負債	80,333	86,465
固定負債合計	539,565	380,711
負債合計	1,331,730	1,269,601
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	81,865	81,865
資本剰余金	1,180	1,180
利益剰余金	112,504	26,631
自己株式	△2,440	△2,440
株主資本合計	193,110	107,238
純資産合計	193,110	107,238
負債純資産合計	1,524,841	1,376,839

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,250,105	3,322,111
売上原価	2,550,213	2,597,864
売上総利益	699,891	724,247
販売費及び一般管理費	598,279	607,884
営業利益	101,612	116,363
営業外収益		
受取利息及び配当金	225	1,012
助成金収入	400	200
その他	1,703	7,678
営業外収益合計	2,329	8,890
営業外費用		
支払利息	10,550	10,387
社債発行手数料	2,559	-
その他	79	4,763
営業外費用合計	13,189	15,151
経常利益	90,752	110,102
特別利益		
固定資産売却益	363	-
保険解約返戻金	1,182	-
特別利益合計	1,546	-
特別損失		
投資有価証券評価損	63	-
減損損失	-	144,880
特別損失合計	63	144,880
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	92,235	△34,778
法人税、住民税及び事業税	35,135	42,665
法人税等調整額	△10,080	△7,622
法人税等合計	25,054	35,042
当期純利益又は当期純損失 (△)	67,180	△69,820
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失 (△)	67,180	△69,820

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	67,180	△69,820
包括利益又は包括損失 (△)	67,180	△69,820
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益又は親会社株主に係る包括 損失 (△)	67,180	△69,820

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	81,865	1,180	58,968	△2,440	139,574	139,574
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			67,180		67,180	67,180
剰余金の配当			△13,644		△13,644	△13,644
自己株式の取得						
当期変動額合計	-	-	53,536	-	53,536	53,536
当期末残高	81,865	1,180	112,504	△2,440	193,110	193,110

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	81,865	1,180	112,504	△2,440	193,110	193,110
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			△69,820		△69,820	△69,820
剰余金の配当			△16,052		△16,052	△16,052
自己株式の取得						
当期変動額合計	-	-	△85,872	-	△85,872	△85,872
当期末残高	81,865	1,180	26,631	△2,440	107,238	107,238

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	92,235	△34,778
減価償却費	11,334	11,435
のれん償却額	35,671	35,671
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△310	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,012	12,011
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,723	6,132
受取利息及び受取配当金	△225	△1,012
支払利息	10,550	10,387
減損損失	—	144,880
支払手数料	2,559	—
保険解約益	△1,182	—
固定資産売却益	△363	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,215	△22,362
棚卸資産の増減額 (△は増加)	287	1,366
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,317	△6,966
未払費用の増減額 (△は減少)	△26,723	10,116
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,088	5,629
その他	△6,187	△8,647
小計	134,397	163,864
利息及び配当金の受取額	218	890
利息の支払額	△10,550	△10,387
法人税等の支払額	△34,801	△36,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,264	117,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,874	△4,324
有形固定資産の売却による収入	363	—
無形固定資産の取得による支出	△3,496	712
無形固定資産の売却による収入	880	—
保険積立金の積立による支出	△7,126	△7,126
保険積立金の解約による収入	2,727	—
定期預金の預入による支出	—	△154,033
定期預金の払戻による収入	—	112,797
その他	△323	△3,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,848	△55,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,212,000	1,935,000
短期借入金の返済による支出	△2,252,000	△1,869,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△155,754	△148,598
社債の発行による収入	97,440	—
社債の償還による支出	—	△20,000
リース債務の返済による支出	△5,157	△5,569
配当金の支払額	△13,644	△16,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,115	△124,219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,299	△61,765
現金及び現金同等物の期首残高	568,592	575,892
現金及び現金同等物の期末残高	575,892	514,126

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは情報処理事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	239.12円	133.61円
1株当たり当期純利益	83.70円	△86.99円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	67,180	△69,820
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	67,180	△69,820
普通株式の期中平均株式数 (株)	802,600	802,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。